

人とモノの間に。



TANAX CSR Report 2021

株式会社TANAX CSR報告書（2020年12月期）

Top Message



時代の変化にあわせて、企業も変革する —— 次の100年も続くTANAXを目指す。

代表取締役社長 **田中 一平**

新型コロナウイルス感染拡大への対応について

新型コロナウイルス感染症により罹患された皆様および関係者の方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、献身的に医療に従事されている方々、感染拡大防止に尽力されている方々に、感謝と敬意を表します。

2020年は世界的に衝撃の1年となりました。当社は、コロナ禍において、全社で感染予防対策のマスク、消毒、3密回避などを徹底し、「社員の生活と雇用を守り、事業を継続する」メッセージを発信してきました。出社率の制限、一部在宅勤務の中でともに事業継続に奮闘してくれた全社員に感謝いたします。

当社はセールスプロモーション、産業資材・物流ソリューションの事業を手掛け、コロナ影響下においても、

フレキシブルにお客様のニーズにお応えすることができたことが、強みとなりました。

ウイルス感染拡大防止のため、イベントや展示会が相次いで中止・延期となり、セールスプロモーション事業は落ち込みました。一方で、段ボールケース自動製造システム「Just fit BOX」を中心とした物流ソリューション事業では、Web展示会やオンラインセミナー、オンライン商談の実施に切り替えて、お客様との接点を保つことができ、マシン導入につながっています。

お客様、市場および社会から求められた結果が、我々のプレゼンス（存在価値）になると考えます。コロナ禍においては、従来の考え方やビジネスの在り方が大きく変わっていきます。こうした厳しい環境下において、ONE TANAXとなり、たゆまぬ努力と創意工夫で、プレゼンスの向上に取り組んでいきます。

企業理念

いつの時代でも「ココロでつながる会社」でありつづける。

企業目的

顧客企業の課題解決において、つねに他社の追従を許さない優位を築く努力を怠らず、いつの時代でも顧客にとってなくてはならない存在でありつづける。

次の未来像『UX Company』に向けて

当社のコーポレートアイデンティティ『人とモノの間に。』にあるように、お客様であるクライアント企業と、商品を手にするユーザーをつなぎ、そこに“エクスペリエンス（新たな体験・満足感）”を提供することが、我々の使命だと考えます。

当社は、明治40年（1907年）の創業から2021年で114周年を迎え、次の未来像としてセールスプロモーション、産業資材・物流ソリューションの各事業を通して、新たな体験や発見を提供する『UX Company（ユーザーエクスペリエンスカンパニー）』を目指しています。

UX提供の1つとして、2020年に当社は複数のシェルフ・サイネージを、IoTセンサやAIで統合制御し、店舗の来客属性に合わせて最適なデジタル販促コンテンツの配信を可能にするシステム「コネクテッドシェルフ[®]」

（Connected Shelf[®]）を株式会社リコーと共同開発し、メーカー、卸売、小売流通店舗と連携して実証実験に取り組んでいます。

近年、AIやIoTを活用してビジネスに変革をもたらすDX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進んでいる中で、同システムは小売流通店舗における従来の売り場演出や商品プロモーションをデジタル技術で拡張し、お客様に“新たな買い物体験”を提供するものです。また、店舗販売員の対面接客をサイネージで代替できることから、ウイルス感染リスクの軽減も期待されます。

SDGsへの貢献

近年、社会的に高まってきたサステナビリティ（持続可能性）を追求する機運が、コロナ禍によってさらに強まっていると感じています。当社のCSR・サステナビリティの歩みは長く、独自の環境配慮ラベル制度「ちゃんとエコ[®]」の導入、FSC[®]森林認証、ISO14001取得などの環境活動の土台に各種活動がつながり、「事業活動を通じた社会課題の解決」と「事業プロセスにおける配慮」で、持続可能な社会形成への寄与を目指しています。特に、事業活動として脱プラスチック、ホワイト物流、環境負荷削減などの社会課題への対応を、クライアント企業とともに進めています。

この考えのもと、当社はSDGsへの貢献として、7つの重点項目を定めて、活動を推進しています。

「ココロでつながる会社」でありつづける

当社は企業理念として「いつの時代でも『ココロでつながる会社』でありつづける。」を掲げています。コロナ禍で物理的な制限ができた状況だからこそ、クライアントやパートナー企業と、そして、社員同士が「ココロでつながる」ことが、より重要になっています。この理念のもと、今後も全社員でさらなる成長と発展に向けて取り組んでまいります。

株式会社TANAX
代表取締役社長

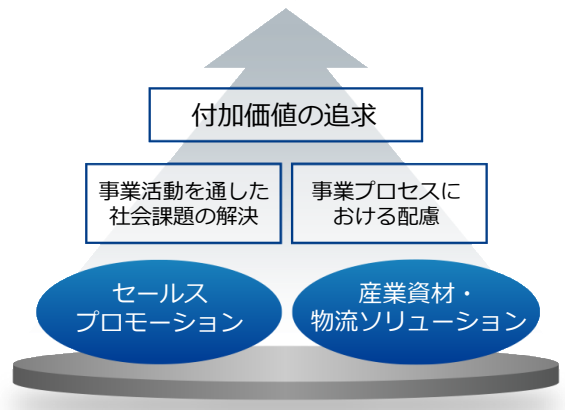
田中 一平

TANAXのCSRの考え方

当社は、セールスプロモーション、産業資材・物流ソリューションの各事業を通して、持続可能な社会形成への寄与を目指します。

- ステークホルダーの要請・期待に応える付加価値を追求することで、信頼に基づく相互発展の関係を構築します。
- 事業活動を通して社会課題の解決に向けた価値を提供します。
- 事業プロセスにおける環境・社会・品質への影響に配慮し、継続的改善に取り組みます。

持続可能な社会形成への寄与



SDGsへの貢献

2015年の国連サミットにて2030年までの「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択され、持続可能な社会の実現に向けた17目標・169ターゲットへの貢献が社会的に求められています。当社では、SDGsの開発目標から7項目を重点目標に定め、お客様および協力会社様のCSR・SDGs活動への貢献につなげるため、活動推進しています。

SDGs : Sustainable Development Goals

国連サミットで採択された、2030年に向けた「持続可能な開発目標」。目標・ターゲットには人権、健康、気候変動対策、森林保全などが含まれます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



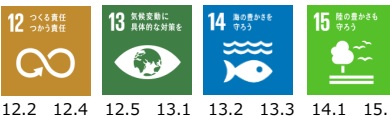



■ TANAXのSDGs重点目標



TANAXはお客様・協力会社様・従業員・製品・地球環境への配慮に重点を置いて、SDGsの取り組みを全社で推進しています。

SDGs取り組み一覧

※対応するSDGs目標とターゲット番号を記載

CSR重点テーマ		SDGsへの主な貢献
事業を通じた 社会課題の解決	環境配慮品および 森林認証品の拡販	<ul style="list-style-type: none"> 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナリシップで 目標を達成しよう <p>7.2 12.4 12.5 13.3 14.1 14.3 15.1 17.17</p>
	・FSC® 森林認証	 <p>1.5 2.4 3.3 3.8 3.9 4.1 5.5 5.a 6.4 6.5 6.6 7.2 8.4 8.5 8.7 8.8 12.1 12.2 12.5 12.6 12.7 12.8 12.a 13.1 14.1 15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.7 15.8 15.c 16.3 16.5 16.6 16.7 17.1 17.11 17.17</p>
	脱プラスチック提案	<ul style="list-style-type: none"> 3 すべての人に 健康と福祉を 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを 守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう <p>3.9 12.2 12.4 12.5 13.1 13.3 14.1 14.3 15.1</p>
	Just fit BOXを 中心とした 物流ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさも 守ろう <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5 15.1</p>
	コネクテッドシエルフ での店舗DX (デジタルトランスフォーメーション)	<ul style="list-style-type: none"> 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5</p>
事業プロセスに おける配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動への対応 (CO₂排出量の削減) ・環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001取得 ・CDP参画とCO₂排出 削減活動  <p>12.2 12.4 12.5 13.1 13.2 13.3 14.1 15.1</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質・コスト競争力向上 ・CSRの考えに基づいた 調達活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001での品質向上 とトラブル削減 ・CSR調達方針の徹底 ・協力会社の監査評価  <p>12.2 12.4 12.5 17.17</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい 職場環境づくり ・組織・社風・人材育成強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス感染対策 ・SFA導入と活用 ・残業削減・有給休暇 取得推進活動 ・育児・介護休業制度 ・女性活躍推進  <p>3.3 3.9 5.4 5.5 8.2 8.8</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス・ リスクマネジメント ・ビジネス倫理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス教育 ・ISO27001取得 ・事業継続計画 (BCP) ・Sedex参画  <p>12.4 16.5 16.7 17.17</p>

店舗DXで“新たな買い物体験”を提供する 「コネクテッドシェルフ®」

来客属性に適したコンテンツ配信でダイナミックな売り場演出を実現

新型コロナウイルスの影響下で買い物環境が急激に変化しており、スタッフと来店者との接触低減する工夫が店舗運営に必須となっています。このことが、小売流通およびメーカー各社のDX（デジタルトランスフォーメーション）対応を強力に後押ししている状況です。

また、ネット通販が拡大する中で、実店舗の役割として“新しい発見”をもたらす「体験型店舗」としての価値を提供することが求められてきています。

店舗DXを推進！ ウイルス感染リスク軽減も期待

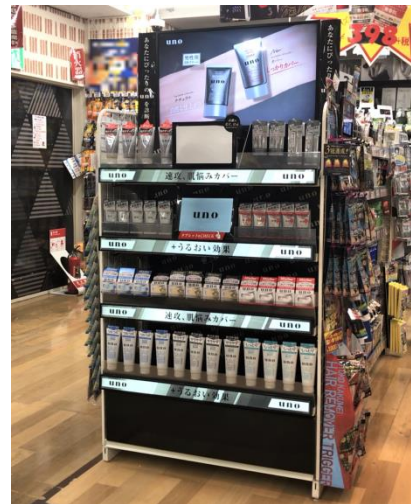
当社は、来店客に合わせたデジタル販促コンテンツ配信システム「コネクテッドシェルフ®」（Connected Shelf®）を株式会社リコーと共同開発し、実店舗での実証実験に取り組んでいます。

同システムは、遠距離からでも来店客に訴求できるマグネット効果や、棚前状況・来店客に合わせたコンテンツ自動表示の機能を備え、購買意欲の喚起に貢献します。

また、販売員の対面接客をサイネージで代替でき、ウイルス感染リスクの軽減も期待されます。

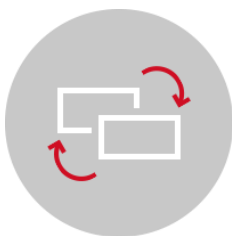
コネクテッドシェルフ

複数のシェルフ・サイネージを、IoT センサやAI で統合制御し、棚前の状況や来客属性に合わせて最適なデジタル販促コンテンツの配信を可能にするシステム。

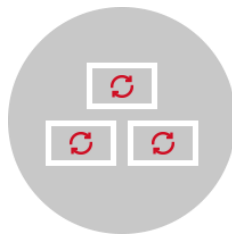


総合ディスカウントストア「MEGAドン・キホーテ渋谷本店」にコネクテッドシェルフを設置し、2020年12月19日から6か月間の実証実験を開始しました。期間中、株式会社資生堂の男性化粧品ブランド「uno」（ウーノ）の商品プロモーションを通して、棚前の集客効果、購入促進の検証を実施。

「コネクテッドシェルフ」の特長



コンテンツ自動切替



シンクロ・モード



CMSで統合管理



既存什器に対応

CMS：コンテンツ・マネジメント・システム

【コネクテッドシェルフ動画】

<https://youtu.be/HGxrp4JMrJ4>

「お客様にとってなくてはならない存在」であり続けるために、各種ISOをベースとした独自のマネジメントシステムを運用し、製品サービスの品質向上と継続的改善に取り組んでいます。

TANAX 品質方針

株式会社TANAXは製品サービスの品質向上と、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、多様化するニーズに対応していくために、品質、環境及び情報マネジメントシステムを構築し、品質、環境及び情報の双方向による継続的活動の推進により、常にお客様満足度の向上を意識し取り組んでいきます。

1. ISO9001、ISO14001及びISO27001を基礎とした独自のマネジメントシステムを構築し、森林認証、ちゃんとエコを含めた環境保全活動、品質向上及び情報セキュリティを推進します。
2. 当社の活動、製品のライフサイクル及びサービスが関わる環境側面、お客様要求事項を認識し、品質、環境及び情報マネジメントシステムの継続的改善を通じて、企業の社会的責任を果たす高付加価値製品の提供を目指します。
3. CSR調達方針に基づき、当社の活動に関する法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 技術的、経済的に可能な範囲で品質、環境及び情報の目的、目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を行います。
5. CDPの、企業に対して気候変動への戦略や具体的な温室効果ガスの排出量に関する公表を求める理念に同意し、CO₂排出量の削減についても取り組みます。

改訂：2021年9月1日

品質管理体制

当社は各種ISOを基礎とした品質管理システムを構築し、品質管理規程を含む社内ルールに基づいた運用を行うことで、安定した品質レベルの確保に努めています。具体的活動として、各現場での生産プロセス管理の徹底と品質の作り込みを実施。また、Webカメラやスマートフォンを活用した映像コミュニケーションシステムにより、製造現場の工程・品質確認、作業指示を遠隔地からもリアルタイムに行える体制を構築。これらにより、ヒューマンエラーの防止と不適合品流出の未然防止を図り、生産現場力の強化を図っています。

協力会社様にも当社の品質ガイドラインの運用と、監査評価へのご協力をお願いし、協力会社様と連携して製造品の品質向上に取り組んでいます。

ISO9001（品質マネジメントシステム）

2013年に本社工場でISO9001認証を取得。この取り組みを基に2015年に全工場、2016年に本社、支店、営業所を含め、全社で認証を取得しました。品質マネジメントシステムの有効性を高め、製品サービスの品質向上につなげるために、運用・活動を通して課題を抽出し、継続的改善と教育の徹底に取り組んでいます。



TANAX本社・
全支店・全営業所・全工場

各種マネジメントシステムを基礎とした 全社員参画による品質管理体制



ISO12647-2（カラーマネジメントシステム）

当社は、印刷部門においてオフセット印刷の標準化（PSO）を規定した「ISO12647-2」の認証を取得しています。この認証取得により、オフセット印刷で安定したカラー印刷の提供ができる体制を構築し、印刷物の品質および色の再現性が高水準にあることを証明しています。



環境保全の取り組み

SDGsへの
主な貢献



地球環境保全と地域社会への配慮は、経営における重要課題の1つです。

当社はCO₂排出量の抑制と持続可能な資源の利用に努め、環境経営を推進しています。

TANAX 環境憲章

基本理念

株式会社TANAXは、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を果たすべく、地域社会との調和・共生をはかり、地球環境保全活動の推進と、資源の持続可能性確保に努めます。

基本方針

1. 省資源・省エネルギー・CO₂排出削減の推進
2. 事業活動に関わる環境負荷の低減
3. 環境配慮品・森林認証品の拡販
4. 環境保全活動の公開と社内啓蒙

発行：2017年12月1日
改訂：2021年 9月1日

「ちゃんとエコ」認定ラベル制度

「ちゃんとエコ」とは、店頭販促物、産業資材、商業包装材にて、ライフサイクル全般における環境負荷低減に配慮した製品を「ちゃんとエコ」製品として認定する、TANAX独自の環境ラベル制度です。

2009年の運用開始以降、持続可能な社会のために今できることを可能な限り実践する精神のもと、お客様・協力会社様とともに環境負荷低減を実行しています。営業、企画、設計、製造、廃棄、リサイクルなどでの環境配慮を加点点評価し、基準点をクリアした製品に「ちゃんとエコ」ラベルを付与。FSC®認証紙の利用推進、省資源化による環境負荷削減、環境コミュニケーションによる社会的な環境意識向上などに貢献しています。



「ちゃんとエコ」ラベルは自己宣言型環境主張（タイプII環境ラベル）として、環境省の環境ラベル等データベースに掲載されています。

FSC® 森林認証（CoC認証）

森林保全への貢献を企業としての社会的責任と捉え、「FSC森林認証紙」の使用を推進。FSC森林認証は適切に管理された森林から伐り出した木材を原材料に使用すること

で「木を利用しながら森を守る」制度です。当社はFSC CoC認証を2010年に取得し、認証製品の製造販売を行っています。



ISO14001（環境マネジメントシステム）

2001年から本社工場にて、ISO14001（環境マネジメントシステム）を導入し、各種環境課題への取り組みの目標を設定し、パフォーマンスの向上に努めています。

システム運用では、第三者機関による定期審査を受け、有効性確認と改善を実施しています。



TANAX本社工場

CDPへの取り組みとCO₂排出削減活動

CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）

CDPとは、グローバル企業や主要国企業に対し、気候変動対策、森林・水資源の保護に関する環境取り組みの公開を求め、評価付けを行う国際的プロジェクトです。企業評価にESG（環境・社会・企業統治）情報を活用する流れが強まる昨今、CDPは企業の持続可能性を示す指標の1つとなっています。

当社は2015年からCDPに参画。2020年もCDP質問書に回答し、前年の気候変動対策や森林保全活動の実績と、今後の戦略、リスクマネジメント結果を公開しました。

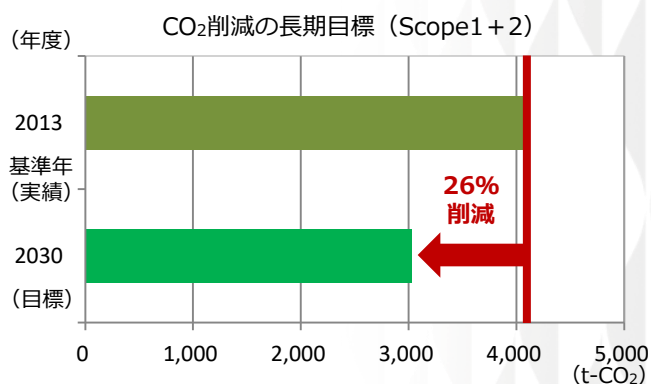


2020年のCDPにて、3分野の環境取り組み(2019年活動実績)を公開

2030年に向けたCO₂排出量削減の長期目標を策定

地球環境保全は企業にとっての重要課題の1つと認識し、当社はCO₂排出量の削減を進めています。その一環としてパリ協定での日本国内でのCO₂削減目標の水準に沿うように、当社は2030年までに「2013年比26%削減」を目指す長期目標を策定。2017年のCDP気候変動の回答から当社のCO₂排出削減目標として公開しています。

目標の達成に向けてより一層、省エネルギー化と生産性向上に努め、CO₂排出量削減を推進していきます。

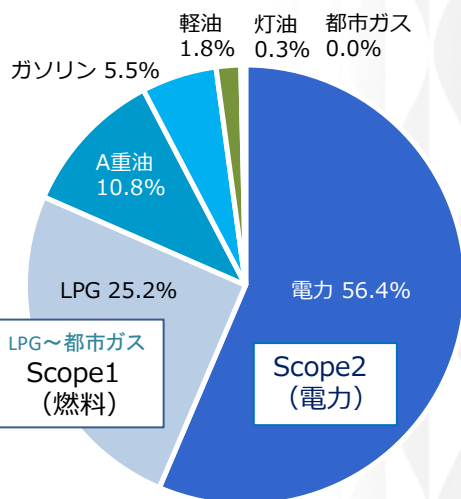


CO₂排出削減活動

2019年度のCO₂排出量は3,361t-CO₂となり、基準年の2013年比で18.0%削減しました。当社では省エネルギー化や設計・製造での省資源化などの取り組みに加え、CO₂削減を目的とした設備投資を推進しています。

主なCO ₂ 削減活動		実施年
照明のLED化	本社工場	2015年、2019年
	本社	2017年
	北海道工場	2019年
	仙台工場、九州工場	2020年
高効率ボイラーへの入れ替え	本社工場	2014年
	東京利根工場	2016年
	北海道工場	2017年
空調機の入替	本社工場	2018年
印刷機の入替	本社工場	2020年
本社・各工場における新電力採用		2015年から順次
新電力採用済みの5工場においてCO ₂ 排出係数の低い新電力に切り替え実施		2018年
営業車削減とカーシェアリング導入		2015年
本社での電気自動車の導入		2016年

TANAXのエネルギー種別CO₂排出量 構成比 (2019年度)



※CDP回答内容として2019年の活動実績を公開

2019年度のCO ₂ 排出量	3,361t-CO ₂
2013年比の削減率	18.0%削減

コンプライアンス、人権の尊重、地球環境保全など、当社のCSRの考えに基づいた調達活動を通して、当社と協力会社様との長期的な相互の信頼関係を構築し、共存共栄の関係を目指します。

TANAX CSR調達方針

1. お取引先様との共存共栄

当社は、事業活動を行うために必要な物品、サービス等を様々なお取引先様より調達し、付加価値を加え、当社の製造品、サービスとして提供を行っています。

この中において、当社とお取引先様とは、相互に長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてお互いが自己の持つ力の向上を図り、ともに繁栄、存続してゆく、共存共栄の関係を目指します。

2. 公平な機会の提供

お取引先様の選定については、企業としての信頼性、技術力、調達品の品質、価格、納期、企業の社会的責任への取り組み状況等の項目による総合的な評価を行い、国内、国外、経営規模の大小を問わないものとし、新規希望者に対し、常に公平、公正な機会を与え、真摯に対応するように努めるものとします。

3. CSRに配慮した調達活動の推進

当社は、「CSR調達指針」に基づき、法令遵守、人権の尊重、労働安全衛生、製品、サービスの品質、安全性の維持、確保、情報セキュリティの維持、推進、公正取引、企業倫理、事業継続のための危機管理体制の構築、社会貢献等、CSRに配慮した調達活動をお取引先様とともに推進します。

4. TANAX「CSR調達指針」

当社は、CSRに配慮した調達活動を積極的に推進するため、「CSR調達指針」を作成し、自ら遵守するとともに、お取引先様に対しても、この指針の遵守を求めます。

発行：2016年11月1日

改訂：2021年 9月1日

森林認証紙・古紙の調達

お客様からの環境配慮に関するご要望にお応えし、「持続可能な紙の利用」を推進するため、紙・板紙・段ボール原紙の供給元との強固なネットワークを構築し、FSC®森林認証紙や古紙の安定的な調達に努めています。

また、当社独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」において製品に対する環境配慮を加点評価するうえで、古紙の利用を推奨し、製品における古紙含有率を高める活動を進めています。こうした活動を通して、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を目指し、森林保全と資源の循環利用に取り組んでいます。

化学物質の安全性確認

製造時において化学物質によるばく露から作業を守るために、化学物質管理に関するルールを定め、取り扱い物質や作業内容についてリスクアセスメント評価結果に基づいた適切な作業環境を整備。取り扱い化学物質および規制対象物質のリスクアセスメント実施手順を定め、保護具の選定・使用徹底を図ることで、化学物質による健康被害予防と労働災害リスク低減に努めています。また、取り扱い化学物質についてSDS（安全データシート）を取得し、自社の製造現場および社外製造委託先様などの安全確保を図っています。

働きやすい職場環境づくり

SDGsへの
主な貢献



一人ひとりの社員が安心・安全に、かつ目標とやりがいを持って働ける職場づくりを実現するために、人権の尊重、健康配慮、社員の成長と能力開発に関する取り組みを実施しています。

働き方改革の実践

【残業削減・有給休暇取得活動】

長時間労働の防止と生産性向上を促すために、残業削減活動として、勤怠管理システムを運用。勤務状況を把握・分析して、社員の健康維持や、業務・体制の見直しなどに活用しています。メンタルケア・カウンセリングサービスやストレスチェックの実施にも取り組んでいます。

また年次有給休暇取得を推進し、取得率80%以上達成・維持を目標にしています。具体的な取り組みとして、2015年から取得促進（強化）期間を設定、2018年度に年間取得目標日数を設定。この結果、2014年度取得率47.89%から2020年度取得率80.55%に向上し、推進を継続しています。

【営業支援システム活用による生産性向上】

営業支援システム「Salesforce（セールスフォース）」を導入するなど、生産性向上をはじめとした施策を全方位から進めることで、より働きがいのある魅力的な会社となることを目指しています。社員が心身ともに健康で、仕事にやりがいを持ち、各自が最高のパフォーマンスを発揮することで、ステークホルダーの皆様へ価値還元となる好循環のサイクルが生まれると考えています。

多様な人材活用

基本的な人権と個性の尊重を基本として、従業員一人ひとりがやりがいを持って働ける職場環境を実現するために、女性の活躍推進、高齢者雇用、障がい者雇用を促進しています。特にライフステージに合わせた多様な働き方ができるよう、育児・介護休業制度や、定年退職後の再雇用制度を導入し、人材の有効活用を目指し、取り組みを推進しています。

福利厚生 の 充実

従業員のライフサポートの充実のために福利厚生サービス「Benefit Station（ベネフィット・ステーション）」を導入しました。社員間の交流促進、プライベートの充実、育児・介護支援、自己啓発サポートなど、従業員の意欲・能力を発揮するためのツールとして活用しています。



旅行

生活

健康

育児

介護

学ぶ

人材開発・社員教育

社員の能力開発と力量向上に積極的に取り組んでおり、スキルレベルに応じた様々な教育を実施しています。また、業務に直結する資格として「包装管理士」「プロモーション・マーケター」などの取得を奨励しています。

【経営ビジョン浸透策】

組織・社風・人材育成強化を目的に、全拠点で経営ビジョン説明会を実施。企業理念・目的・方針を社員自らが理解し、同じベクトルに向けて業務を進める活動を推進しています。

【全社横断型の教育プログラム】

社員の成長と業務標準化のために、各種ISO・CSR・ビジネス倫理などの教育を全部門を対象に実施しています。





法令遵守の徹底と企業倫理・社会的責任の意識浸透に取り組み、誠実な企業活動に努めることで、お客様をはじめ、ステークホルダーの皆様から安心・満足・信頼をいただける企業を目指します。

TANAX コンプライアンスポリシー

株式会社TANAXは、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に寄与するため、以下の通り、コンプライアンスポリシーを定めます。当社は、本ポリシーを遵守するため、コンプライアンス体制の整備や役員および従業員に対する定期的なコンプライアンス研修を行うとともに、本ポリシーの遵守状況について監査の独立性を担保したうえでモニタリングを実施することで、コンプライアンス体制の強化に向けて継続的な改善を図っていきます。

1. 法令遵守

- ・企業活動に関係する法令、条例、通達、お客様との契約および社内規程等について、その趣旨、目的を理解し、遵守します。

2. 社会的責任

- ・社会の構成員としての自覚を持ち、社会規範および企業倫理に基づき、良識を持って誠実に行動します。

3. 公正な取引

- ・優越的地位の濫用や不当な取引強制、事業活動の不当拘束など公正な競争を阻害する行為またはその恐れのある行為を行いません。
- ・私的独占・寡占、カルテルや談合など競争の実質的制限となるような行為を行わず、競争の実質的制限と疑われるような行為もいたしません。
- ・不当な代金の減額や、不当な取引内容の変更など下請事業者や取引先の利益を不当に害する行為をいたしません。
- ・誤解を招くような誇大な広告宣伝など一般消費者の合理的な選択を阻害する行為またはその恐れのある行為をいたしません。

4. 情報管理

- ・当社およびお客様の企業秘密は適切に管理し、第三者への漏洩を防止するとともに、利用目的の範囲内でのみ使用いたします。また、企業秘密について、不正な手段により入手いたしません。
- ・個人情報適切に管理し、漏洩、毀損、滅失などを防ぐとともに、お客様から許諾された利用目的以外の目的で利用いたしません。

5. 知的財産権

- ・第三者が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を無断で使用せず、また当社が事業を行ううえで第三者の知的財産権を侵害しないよう事前に必要な調査を行うなど最善の注意をいたします。
- ・当社が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を適切に利用し、保全します。

6. 反社会的勢力の排除

- ・暴力団をはじめとする反社会的勢力と一切のいかなるかわりを持ちません。
- ・違法行為から生じた収益にかかわる取引やテロリストに資金を供与する行為を一切行いません。

7. 腐敗防止

- ・政治家や役人などに対する贈賄や不正な利益供与などの腐敗防止に取り組みます。
- ・社会通念上相当と認められる程度を超えた水準の贈答・接待を行うことや受けることはいたしません。
- ・当社の利益を犠牲にして、当社の従業員が自己または第三者の個人的な利益を図るような行為をしません。
- ・当社および従業員は、お客様の重要な非公開の情報を利用して利益を得るような行為をいたしません。

8. 環境に対する配慮

- ・地球環境の保全に十分配慮した事業活動を行うとともに、資源の再利用などを通じ環境負荷の低減に努めます。

9. 労働環境

- ・お客様や取引先をはじめとする当社にかかわるすべての方の信用・信頼・名誉を損なう行動や発言を許容しません。
- ・労働安全衛生にかかわる法令を遵守し、従業員が安全で働きやすい環境を確保し、従業員の健康を守ります。
- ・人種・国籍・年齢・性別・宗教・政治的見解など業務の遂行と関係のない事由に基づく差別を行いません。
- ・性的な嫌がらせや、職場内での優越的な地位を利用した業務の適正な範囲を超えた精神的・身体的苦痛を与える行為を許容いたしません。
- ・本人の意思に反する就労、離職の自由が制限される労働などの強制労働を防止します。
- ・法令で定められた最低年齢に達しない者を労働に従事させません。

発行：2019年9月1日

改訂：2021年9月1日

コンプライアンス推進体制

当社は、コンプライアンス活動を含めた全社的なリスク対策や業務・労務改善を推進するために、メンバーを選出して「TSプロジェクト事務局」を設置しています。全拠点を対象として、コンプライアンスポリシーに基づく定期的な社内教育とモニタリングの実施により、コンプライアンスの徹底と継続的改善を図っています。



事業継続計画（BCP）の拡充

緊急時における従業員および、その家族の安全確保と、事業の継続運営を適切に行うことを目的として、事業継続計画の拡充を進めています。方針・対応手順を制定し、大地震や新型感染症の発生などの緊急時に、全社の対応に関する重要な意思決定を迅速に行うために危機管理体制の整備を推進。また、平常時から定期的に従業員に教育訓練を実施し、BCP対応を社内に根付かせる活動に努めています。

Sedexでの倫理情報の公開と遵法性確認

(Sedex : サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)

Sedexは世界規模でサプライチェーンを構築する大手企業で取引先・仕入先の管理に活用される情報共有プラットフォームです。

当社は、サプライヤーとしての倫理的かつ責任ある事業慣行の証明を目的としてSedexに登録（本社工場）し、労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理を対象とした当社の企業取り組みをSedexで公開しています。また公開情報をもとに第三者機関の審査を受け、その信頼性および遵法性を証明しています。



内部通報制度

会社の法令遵守を推進するため、通常の社内報告ルートとは別に、従業員からのコンプライアンスに関する電話・メールでの通報・相談窓口として「TANAXホットライン」を設置しています。これにより、組織的または個人による不正・違反・反倫理的行為を未然に防ぐとともに、会社として速やかに事実確認と調査を行い、是正を図れる体制を構築しています。運用に際しては通報者の秘密の保護を厳守し、適正な対応を実施しています。

ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

情報資産の管理について、安全かつ確実な保護のもとで適切に共有・活用することが企業にとっての重要な課題と認識し、2016年にISO27001認証を取得しました。

当社では情報セキュリティ方針を制定し、お客様情報と個人情報の保護を継続的に実施しています。

また、ISO27001取得サイトだけでなく、全社対象で社内教育を実施し、情報セキュリティ体制の強化を推進しています。



TANAX本社システム管理室・東京支店・大阪支店・本社工場

「ホワイト物流」推進運動に参画

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を事務局へ提出しています。

「ホワイト物流」推進運動とは、深刻化が続くトラック運転者不足に対応し国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済成長に寄与することを目的とした運動です。

当社は物流ソリューションを手掛ける企業として当運動を推進するとともに、当社が提案する「Just fit BOX（ジャストフィットボックス）」での段ボール資材の梱包作業・調達形態の抜本的な改革によって、「ホワイト物流」の取り組みを後押しいたします。



文化・スポーツ振興

当社は地域やステークホルダーの皆様と強い絆を育むために、文化・スポーツ振興に取り組んでいます。
(CSRに関するガイドライン「ISO26000」第6章、7つの中核主題の1つである「コミュニティー参画および開発」に基づく)

日本伝統文化の振興

当社は、豊かな社会と日本伝統文化を守ることを目的として一般財団法人京都国際文化振興財団に協賛しており、2020年は京都の名刹「大徳寺」の芳春院・龍泉庵で開催された「慶雲庵 大徳寺特別展」に協賛しました。

盆栽は日本が誇る伝統芸術として国内のみならず海外からも注目を集めており、今後も企業として文化振興に貢献していきます。



(左)
TANAX会長
田中慶治
(中央)
衆議院議員
伊吹文明氏
(右)
文化庁
地域文化創生本部
事務局長
三木忠一氏



(左)
京都市
門川大作市長
(右)
TANAX会長
田中慶治

※2020年11月28日～12月6日に開催

地域・スポーツ振興

【GAINER メインスポンサー】

夢と感動を与えてくれるスポーツの発展は、人や社会の発展にもつながります。

当社はモータースポーツにおいても、SUPER GT300に参戦するカーレーシングチーム「GAINER」のメインスポンサーを務めています。レーシングカーの仕様にはお客様の製品を採用させていただき、お客様とともに、スポーツ振興に取り組んでいます。



<http://www.gainer.asia>

【京都ハンナリーズ トップスポンサー】

スポーツを通じた地域社会の発展貢献の思いから、京都を本拠地としてプロバスケットボールのB.LEAGUEに参戦する「京都ハンナリーズ」をトップスポンサーとしてサポートしており、社員も応援に駆け付けています。



©KyotoHannaryz/B.League

会社概要

商号	株式会社 TANAX	設立	1951年(昭和26年)3月23日
会社代表者	代表取締役社長 田中 一平	資本金	3億6,400万円
本社所在地	〒600-8105 京都府京都市下京区五条通烏丸東入松屋町438番地	決算期	12月
		従業員	530名(2020年12月31日時点)

編集方針

このCSR Reportを通して、株式会社TANAXの「社会」「環境」を中心としたCSR活動を開示することによって、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めることを目的として編集しております。

「環境保全の取り組み」ページのCO₂排出量は、株式会社TANAXと得納克司(香港)貿易有限公司の2019年度の合計値を報告しています。

報告対象：株式会社TANAX(一部関連会社の情報も含まれます)
対象期間：2020年度(2020年1月1日～12月31日)。ただし、一部には2019年以前の活動や情報も含まれています。
発行時期：2021年4月
一部改訂：2021年9月1日(当社商号変更に伴い、一部記載変更)

人とモノの間に。

TANIX[®]

